

科目名	SOC200: 社会学					担当教員	田村 公人	
開講期	春／秋	開講時限	(春)月木3限 (秋)月木2限	研究室	4号館2階 講師控室	オフィスアワー	P.16 を参照のこと	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	kimihito_tamura@sophia.ac.jp	
DP 及び 学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要					学修成果獲得の観点	
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。					2-①	
キーワード	社会学史、理論と方法、実証研究、現代日本社会、若者							
授業の 概要	この授業では、社会学という学問の基本的な学史、理論と方法について学ぶ。あわせて、現代日本のより具体的な社会現象、社会問題を扱った社会学の諸研究も適宜取り上げ、検討することを通して、教養としての社会学の理解に資する。							
達成目標	1. 社会学という学問の特徴について、理解できるようになる。 2. 社会学の基本にもとづいた洞察ができるようになる。							
到達目標	1. 社会学の基本的な学史、理論と方法を説明することができる。 2. 現代日本のより具体的な社会現象や社会問題について、社会的に洞察することができる。 3. 自ら問題関心のある社会現象や社会問題に着目し、かつ社会学の理論や方法を使いながら、自らの考えを提示することができる。							
評価方法	1. 授業時の積極参加 50% 2. 中間レポート 20% 3. 最終レポート 30%							
評価基準	1. 積極的に授業に参加しているかどうか。 2. 授業内容を踏まえ、中間レポート課題が取り組まれているかどうか。 3. 授業内容を踏まえ、かつ自らの考えが説得的に提示されている最終レポートとなっているかどうか。							
準備学修 の時間	本科目の一回 (90 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 180 分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	イントロダクションー高校までの「社会」と社会学の違い	講義、質疑応答	問題意識をもって臨む、講義内容の整理
2	社会学という学問に慣れるためには	講義、質疑応答	講義内容の整理、参考文献の一読
3	領域 (専門) 社会学の紹介ー都市社会学、家族社会学、文化社会学等、約 30 領域の概要	講義、質疑応答	講義内容の整理、参考文献の一読
4	社会学の古典を読むーデュルケームの『自殺論』 (「臆説」の論破)	講義、質疑応答	講義内容の整理、参考文献の一読
5	社会学の古典を読むーデュルケームの『自殺論』 (自殺に注目する社会学的意義)	講義、質疑応答	講義内容の整理、参考文献の一読
6	社会学の古典を読むーデュルケームの『自殺論』 (自殺は何を明らかにしたのか)	講義、質疑応答	講義内容の整理、参考文献の一読
7	日本の社会学の最新の实証研究の実例にふれるー廣末登『やくざになる理由』を読む	講義、質疑応答	講義内容の整理、参考文献の一読
8	日本の社会学の最新の实証研究の実例にふれるー「社会病理」をどのように考えるか	講義、質疑応答	講義内容の整理、参考文献の一読
9	社会学は「若者の変貌」をどのように考えるかーアイデンティティと人間関係	講義、質疑応答	講義内容の整理、参考文献の一読

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
10	社会学は「若者の変貌」をどのように考えるかー見田宗介『まなごしの地獄』を読む	講義、質疑応答	講義内容の整理、参考文献の一読
11	社会学は「若者の変貌」をどのように考えるかー見田宗介『現代社会はどこに向かうか』	講義、質疑応答	講義内容の整理、参考文献の一読
12	社会学は「若者の変貌」をどのように考えるかー1980年代～1990年代	講義、質疑応答	講義内容の整理、参考文献の一読
13	社会学は「若者の変貌」をどのように考えるかー1990年代～2000年代	講義、質疑応答	講義内容の整理、参考文献の一読
14	社会学は「若者の変貌」をどのように考えるかー2000年代～2010年代	講義、質疑応答	講義内容の整理、参考文献の一読
15	中間的まとめ	講義、質疑応答	14回目までの講義内容の復習、中間レポートの提出
16	後半イントロダクション	講義、質疑応答	講義内容の整理、参考文献の一読
17	社会調査論ー社会調査士資格の紹介	講義、質疑応答	講義内容の整理、参考文献の一読
18	社会学概史ーヨーロッパからアメリカへ	講義、質疑応答	講義内容の整理、参考文献の一読
19	社会学の主要理論ー構造=機能主義、象徴的相互作用論、合理的選択理論、社会構築主義	講義、質疑応答	講義内容の整理、参考文献の一読
20	理論を検証する社会学の「方法」ー実験、量的調査、歴史研究、質的調査	講義、質疑応答	講義内容の整理、参考文献の一読
21	社会科学の「理論」とは何かー経済学と社会学の着眼点の違い	講義、質疑応答	講義内容の整理、参考文献の一読
22	社会学の「理論」の源ーデュルケームやパーソンズが着想を得た自然科学	講義、質疑応答	講義内容の整理、参考文献の一読
23	社会学前史ーロック、ホッブズ、ルソー、近代資本主義の成立	講義、質疑応答	講義内容の整理、参考文献の一読
24	社会学前史ーアダムスミス、ヒューム、フランス革命	講義、質疑応答	講義内容の整理、参考文献の一読
25	社会学前史ーヘーゲル、マルクス、ダーウィン、社会主義の台頭	講義、質疑応答	講義内容の整理、参考文献の一読
26	社会学の古典を読むーデュルケーム『社会分業論』	講義、質疑応答	講義内容の整理、参考文献の一読
27	社会学の古典を読むーウェーバーの『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』	講義、質疑応答	講義内容の整理、参考文献の一読
28	ジンメルとミクロ社会学	講義、質疑応答	講義内容の整理、参考文献の一読
29	構造=機能主義とマクロ社会学	講義、質疑応答	講義内容の整理、参考文献の一読
30	まとめー教養としての社会学	講義、質疑応答	全授業内容の復習、最終レポートの提出

テキスト	特に指定しない。必要に応じて、各回の授業内容に関連した論文記事を配布する。
参考書	橋爪大三郎他著『社会学講義』（ちくま新書） 土井文博他編『はじめて学ぶ社会学ー思想家たちとの対話』（ミネルヴァ書房）
その他特記事項	授業内で適宜、関連文献を紹介する。参考書とあわせて一読しつつ、主体的に講義に臨んでいただきたい。